



図書館だより

瀬戸内町立図書館（瀬戸内町古仁屋 1283-17）



瀬戸内町立図書館 8月発行

お知らせ

先日、与論町で行われた研修会に参加しました！ その中で『A I vs 教科書が読めない子どもたち』（新井紀子/著）が紹介されました。A I と人間の大きな違いは、文章の意味を理解できるかどうかだそうです。この本に出てくる読解力に関する問題が面白かったのでご紹介します。

アミラーゼという酵素はグルコースがつながってできたデンプンを分解するが、同じグルコースからできていても、形が違うセルロースは分解できない。

*この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適当なものを選択肢のうちから一つ選びなさい。

セルロースは（ ）と形が違う

①デンプン ②アミラーゼ ③グルコース ④酵素

正解は①番のデンプンです。どうだったでしょうか？ では、読解力をつけるためにはどうすればいいのでしょうか？ 残念ながら、この本の中では読解力と読書量の間に相関関係はないといわれています。しかし、読解力の前提となる語彙力は、読書によって身につくものだと思います。言葉をじっくり理解しながら読みすすめるということが大事ではないかと感じます。

今月のイチオシ！

『お金さま、いらっしゃい！』高田 かや/著

【内容】毎日がタダ働き、物は共有で金銭のやりとり一切ナシ。「カルト村」で育った私は、お金への憧れが強すぎる大人になり…。村を離れた著者が、一般社会で金銭とどう付き合ってきたかを描いたコミックエッセイ。

☆「カルト村で生まれました。」「さよなら、カルト村。」に続く3作めです。前作2冊とも図書館にありますので、ぜひそちらもあわせてどうぞ！



★FMせとうち（76.8MHz）の図書館・郷土館のラジオ「ブックブックさんみじやれ」は、毎月第1水曜日の①10：00～②14：30～③20：30～放送中です！ 次回の放送は9/5(水)です。

お庭だより

ナンバンサイカチ（ゴールデンシャワーツリー）

マメ科 花期：4～9月

葉っぱはチョウの幼虫の好物だそうです。

黄色の花が一斉に咲く様子はまさに「黄金の雨」

ですが、この木はあまりそうなりません…。



ふむふむ！まめちしき ～「郷土誌のBar」から～



カナ

西郷さんと結婚した愛加那さん。その愛加那さんの名前についている「加那」は本名ではなく、「愛しい人」という意味の愛称のようなものです。島の八月踊りの歌詞には、「恋人」や「愛しい人」をさす「カナ」が出てきます。奄美・沖縄で「かわいい」や「愛しい」を意味する「カナサン」や「カナシャ」からきている言葉だろうと思われます。

●男性にも「カナ」をつける？

男性の名前に「カナ」がつく例として、宇候の名柄の家に雇われていた美女カンツメと久慈の役所に勤めていた若い男イワカナの恋の物語があります。ただしこれは本名ではなく、おはなしによっては「イワ太郎」ともよばれているそうです。イワカナの「カナ」は、カンツメからみて愛しい人という呼び名でついていると解釈できます。

その他、島唄の歌詞のなかにも、「くるだんど節」「いきゅんにや加那」「雨ぐるみ節」などに、男性名にカナがつく例がみられます。

